

テーマ：高齢化と担い手の確保

	グループから出た意見
お悩み	<p>（高齢化）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員は70歳代～80歳で、ろくに活動ができないし、まとめていくのも困難。</li> <li>・最近では60～65歳で定年になってもそのあと働く人が多い。いざやるとなっても70歳を超える</li> </ul> <p>（福祉会の存在意義や認知度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そもそも地域福祉会って必要なのか？本当に必要なものは何なのか？とってしまう</li> <li>・自治会に入らないと地域福祉会に入れない。そのため地域福祉会に入る人がいない。イベントをしても入っていない人には気づかれない</li> <li>・地域福祉会に入っていない人からすると、地域福祉会は自治会の傘下だと思う人がいる意識がある</li> <li>・福祉会は同じ人が同じことをやっている</li> <li>・老人会と思われている</li> <li>・福祉会独自では何をやっているの？と聞かれる</li> </ul> <p>（地域性）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・足柄平野が災害もなく、平和すぎるから、隣近所の付き合いの大切さを実感できずにいる。自覚がない人が多い。</li> </ul> <p>（後継者問題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉会に限らず、自治会も会の存続が困難。入ってくる人より出ていく人の方がはるかに多い。</li> <li>・皆、働いて忙しい状況で、地域活動に参画を呼び掛けるターゲット（年代等）が絞れず、悩んでしまう。</li> <li>・自分たちは長く活動しすぎているから、なり手がいれば譲りたい。でも、他会員から、あなたがいなくなったら福祉会が終わると脅迫されて、踏みとどまっている。</li> <li>・会員の中で一番年下の人が会長と決まっている地域もある</li> <li>・会長を8年、10年やる人が多い</li> <li>・会長職を頼むと退会してしまう</li> </ul>

	<p>(福祉への想い)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちは、活動を始めた時と基本的に思いが同じ。この思いをだれに伝えていけばいいのか。どうしたら伝わるのか。</li> <li>・会員が自然に入ってくることは、まずない。コロナ前は、何かの行事で顔を合わせ、様子を見て、個別に声掛けをする等できたが、現在は、知り合える機会自体がなく、声をかけることはできなくなっている。</li> </ul> <p>(自治会との関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会を抜けて地域福祉会に入る人も居て良いのだが、周りの人は「なぜ自治会を抜けて地域福祉会に入るのか」と思う人もいてなかなか入ってくれる人がいない</li> </ul>
<p>改善策や 今後への想 い</p>	<p>(声かけ、口コミ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員募集は、回覧板などで行っても効果は薄く、声掛けが一番いい。</li> <li>・クチコミは大事！どんどん声掛けをしていこう</li> <li>・普段からの声掛けが大切</li> <li>・住民の情報を様々な人から得る</li> <li>・親睦の会、消防団、女性（妻）からの情報が役立っている</li> </ul> <p>(やりがい・楽しさを伝える)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本来、活動は楽しいもので、気軽であるべきだが、一度、活動に参加すると10年もいろいろと役をさせられるという抵抗感があるのでは。もっと楽しいものだと伝えていきたい。</li> <li>・地域福祉会は、自治体がどうか関係なく、地域の人に良いことをしたい！</li> <li>・日々の活動（体操やお茶会）には気軽に来てくれる方がいる</li> <li>・会員や役員が楽しく活動することが、結果的に人を呼び込むのでは？</li> <li>・福祉会って何？に答えられる活動を企画推進</li> <li>・以前は2年に1度バス旅行をしていた。会員、役員にも楽しみが必要</li> </ul> <p>(女性の力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会や地域の活動に積極的な姿勢の人は少なくなった。自治会に入るメリットさえ分からなくなっている状況。特に男性が活動に参加することは難しい。女性をターゲットに呼び掛けたほうがいい。女性が団体の中心になって活動したほうが、活気がある。</li> </ul>

(役割分担)

- ・書類作りなど得意の人がいる場合は役割分担していく
- ・行事に対し実行委員を募集している

(担い手確保のために)

- ・組織の統合はどうか
- ・子どもと一緒に何かしたい
- ・発想を変えて、20歳くらいの若い子が会長になってもいい!
- ・自治会OBや会員の知人などにやってもらう(これが一番有力)
- ・新しく家を建てた人に自治会員になってもらうため、声をかけに行く。
- ・4～60代の会と親睦を深め、毎年見込みのありそうな人に声掛けをしている。現役の人の情報が必要

(つどいの場・行事の開催)

- ・花見や夏祭りなどで飲食を伴う集まりが、人との距離を縮め、良い人間関係を築く
- ・昔の遊び道具を用いて、思い出を語ってもらうなど、共通のものがあると話が弾む
- ・女性はおしゃべりが好きだが、男性はおしゃべりが苦手なので、麻雀などが良い。向いている人が必要。
- ・規模を縮小したり、時間帯を分けて少人数で行うなどの工夫をした

(他地域交流)

- ・お互いの地域(サロン等)を訪問して、見聞きすることが参考になり、良かった。

テーマ：地域内の各団体との連携について

	グループから出た意見
お悩み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の役職がたまたま回ってこない、福祉会の存在が分からなかった。</li> <li>・自治会の中の一般の人はわからないと思う。</li> <li>・先に自治会3役を経験し、経験者が福祉会をやる。しかし最近はコロナで活動しておらずわからない。</li> <li>・成り手がないのは、魅力が無いということ。</li> <li>・年をとってもやりたい、集まって、楽しかったら集まると思う。</li> <li>・最近は飲み会が無いからやっても意味がない。夏まつりは他団体と交流できる機会だった。</li> <li>・団体は色々あるが、1人が何個も掛け持ちしている。</li> </ul>
改善策や今後への想い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動的に自治会が福祉会の会員としたらどうか。</li> <li>・福祉会は自治会に対して活性化を促すものなので、自治会の中から福祉会に誘って見たら動かしやすいのでは。</li> <li>・強制力のないものなら来やすい。</li> </ul>

テーマ：コロナ禍における工夫や新たな活動について

	グループから出た意見
取り組んだこと	<p>(出前講座)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社協に出前講座を依頼し、参加者は話さない形で研修会やサロンを行った。</li> <li>・他の活動ができない為、出前講座を利用して研修会などを考えたい。</li> </ul> <p>(屋外活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン活動は様子を見ながら実施し、屋外で“そぞろ歩き”と題して地域散策をした。</li> <li>・役員会や花壇整備も行った。</li> <li>・廃品回収などの屋外活動は実施できていたが、子育て支援などの屋内活動ができていなかったため、場所を公園にし、屋外で実施した。会議では、少人数で換気を行って実施したものもある。</li> <li>・子ども会が先日飯沢の地域アセスメントのようなフィールドワークを行ったと回覧板にあり、良い取り組みだと感じている。</li> <li>・11月のコロナが下火になった時期に“花咲く里山散策”を実施でき、参加者は喜んでいた。</li> </ul>

(サロン)

・コロナ感染状況をみてできるだけサロン活動を実施。サロンは、外出の機会、身体を動かす機会になっていた。

(見守り)

・高齢者の熱中症が心配で民生委員と訪問活動を行い、10名の方と繋がりを持つことができた。見守り活動からおたがいさまネットに繋がった方もいる。

(勧誘)

・福社会会員募集のチラシを作成し、勧誘して10名が新規加入。福社会の活動について紹介するチラシを定期的に回覧して活動を知ってもらう機会を作っている。